

《朝日に映える  
優美な白鳥》

2024年1月10日

令和5年度 VOL.4

## 寒さを忘れる特別な景色 「早起き白鳥観察会」参加者募集

岩手県立高田松原津波復興祈念公園では、1月28日（日）に市民協働によるイベント「早起き白鳥観察会」を初開催します。主催は、ラムサールを目指す会。夜明け前の古川沼に集合し、ハクチョウたちが一斉に飛び立つ瞬間を待ちます。早起きした冬の朝にしか見られない、特別な景色。講師による解説もあり、どなたでもお気軽にご参加いただけます。



朝日に照らされる古川沼（2022年3月4日撮影）

### ◆二部構成の観察会

フィールドワークと座学の二部構成で、ハクチョウの飛び立つタイミングに合わせ臨機に時間を調整。第一部は、古川沼にて、日の出とともに目覚め、近くのえさ場へ飛び立つハクチョウたちの飛行風景を観察。第二部は、公園管理事務所会議室へ移動し、スライドにてハクチョウやほかの野鳥の解説を実施します。

- 日時/1月28日(日) 6:30~9:30 ※少雨決行、荒天時は室内にてスライドによる解説
- 場所/高田松原津波復興祈念公園(古川沼)
- 集合/古川沼北西側駐車場 6時30分集合 ※国道45号「運動公園」信号を古川沼側に入った駐車場
- 定員/事前受付 先着15名 ※定員に空きがあれば当日受付可 ■参加費/無料
- 申込/公園管理事務所へ電話(0192-22-8560)にて申し込み ※1月24日(水)締切
- 服装・持ち物/暖かい服装、帽子、手袋など。双眼鏡(持っている方)、筆記用具、カメラ、懐中電灯など。
- 主催/ラムサールを目指す会  
共催/高田松原津波復興祈念公園協働グループ有志、高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体  
協力/陸前高田市立博物館 ※国土交通省 東北地方整備局と(一社)東北地域づくり協会の支援事業

飛び立つハクチョウ  
(2022年12月21日撮影)

### ◆陸前高田市に飛来するハクチョウ

陸前高田市で越冬するハクチョウは、ほとんどが「オオハクチョウ」で、10月末から11月初めにシベリア北東部から飛来。北帰行は2月初旬から始まり、遅いものは4月初旬まで残ります。夜は天敵から身を守るために古川沼など水辺で過ごし、日中は餌を食べるため「沖の田」の田んぼ等へ移動します。

### ◆ラムサールを目指す会

2018年(平成30年)に設立された「ラムサールを目指す会」。草木、虫や鳥、魚や動物等の多くの生き物たちがつくる「命の輪」。この「輪」の一員として、高田松原、気仙川、古川沼等に代表される、郷土の海山川の自然を守ることを目的に活動しています。

朝日と古川沼のハクチョウ  
(2023年1月8日撮影)Instagramはじめました  
iwate\_fukkokenen\_park

《お問い合わせ》 岩手県立高田松原津波復興祈念公園管理事務所 担当:尾澤  
指定管理者:高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体(代表:一般財団法人公園財団、構成員:NPO法人 緑の相談室)  
〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字中宿 24-3 TEL:0192-22-8560 <https://iwate-fukkokenen-park.jp/>